

# 備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		平成17年度	
総合計画	大項目	02	健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目	06	健康でやさしく生活するまちづくり
	小項目	02	健康づくり
事務事業名		03	健康づくり推進協議会事業
			このシート作成に要した時間 7.0 時間

事業の成果		年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
「健康びぜん21」ライフステージの重点目標(7項目)のうち達成目標に近づいた指標の数	目標値(A)	7	7	7	7	7
	実績値(B)	5	4	1	到達目標値	
	達成率(B/A)		71.43%	57.14%	14.29%	
成果指標設定の考え方・式や説明						
「健康びぜん21」ライフステージの重点目標(う歯罹患率の減少(乳幼児期) 朝食を毎日食べる人の増加・小学6年生・中学3年生(学童・思春期) 節目健診者数の増加(青・壮年期) BMI 2.5以上の人々の減少(中年期) 介護保険認定率の維持(高齢期) 朝食を毎日食べる人の増加・3歳6カ月児(食育推進計画)のうち前年度より達成目標に近づいた指標の数						

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	乳幼児期から高齢期までの市民
目的(何のために)	市民の健康の保持及び増進のために必要な対策の検討並びに総合保健計画の立案とその施策の推進を図る。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	健康づくり推進協議会で必要とされた施策を実施することにより、市民一人ひとりが主体的に健康づくりや食育に取り組み、総合保健計画(健康びぜん21、備前市食育推進計画)の目標が達成され、その結果市民の健康が増進する。

事務事業の評価		妥当性評価	効率性評価	有効性評価	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A-E>		
	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A-E>		
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 <A-E>		

事業の実績		優先度	
目的を達成するために実施した事業	健康づくり推進協議会事業	健康づくり推進協議会を開催し、健康びぜん21計画に沿った保健事業の進捗状況をもとに、必要な対策や取り組みについて検討し、毎年の事業計画を作成する。 平成20年度は健康びぜん21の中間見直し及び備前市食育推進計画の策定にあたった。 目標年度である平成25年は次期計画策定の委員会を兼ねる予定。	

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
決算額	事業費		65	2,132	65
	必要人員	千人	0.17	1,136	0.26
	必要人件費	千円	1,201	7,147	1,853
	事業費計				
	国県支出金				
受入金	千円				
受入金					
その他( )					
一般財源		1,201	7,147	1,853	
受益者負担率	%	-	-	-	
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
会議開催回数	説明	会議開催回数			
結果指標	結果指標量	事業	1.0	4.0	1.0
	対前年%		-	400.0%	25.0%
	活動コスト	円	1,201,000	7,147,000	1,853,000
	単位当たりコスト	円	1,201,000	1,786,750	1,853,000

事業の目的、対象、内容等を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

留意事項の目的やその数値目標を達成する成下さい

進行年度(H22年度)の改革改善内容	
状況	状況 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
説明	年1回(年度末)の協議会開催であることや任期途中の委員交代があるため、委員自身の役割や責務が希薄になりやすい。委員や関係機関に積極的な参画を得るため、今年度の計画を早期段階で提出してもらい、意識向上を図るとともに連携を強化する。健康びぜん21の指標が健康づくりに関するアンケート調査結果であり、目標に対する現状値が把握できないものが多かったため、「市民意識調査」に健康づくりに関する項目を3項目追加する。食育に携わる実務者レベルで集まり、市の食育推進について協議を行う。

総合評価	
各ライフステージの重点目標を中心に保健事業に取り組んだが、成果指標達成率は低下した。行政のみでは取り組みが難しい働き盛り世代である関係機関を協議会の構成メンバーに追加し、課題や具体的な取り組み等の現状を把握することができたが積極的な参画はなかった。来年度は働き盛り世代をはじめそれぞれの関係機関や団体が積極的に参画し、それぞれの責務と役割を明確にする中で活発に意見交換し、連携ができる協議会にする必要がある。	評価区分 <A-E> B

平成23年度方向性及び取組目標	
方向性	状況 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
取組目標	健康びぜん21目標達成のために各関係機関や地域と連携を強めるため、協議会委員の選定を係内で協議し、早期に委員の委嘱をするとともに責務や役割を明確化し、意識の向上を図る。 食育に携わる実務者レベルの協議の結果をうけて、食育の推進を検討する部会を開催する。